



認定特定非営利活動法人  
**青少年の自立を支える会 通信**

秋

平成17年



新スタッフと美帆さん  
 中央：石田さん、右：吉井さ

目次

1. 平成17年度第2回理事会開催される
2. 支える会の現状について

今回は、「星の家」の課題や収支状況など支える会の現状について掲載しました。

## 1. 平成17年度第2回理事会開催される

理事 曾根俊彦

平成17年10月8日に平成17年度第2回理事会を開催いたしました。今回は新しく改選された吉光寺ヒロ子理事、加藤祥圭理事(委任状出席)、田鹿馨監事をお迎えして初めての理事会になりました。

議題は「青少年の自立を支える会の現状について」「将来構想検討委員会について」という2つの議題について協議が行われました。初めの現状と課題については、多門事務局次長から支える会の会費納入状況について分析資料を基に趣旨説明が行われましたが、その内容については今回の会報に掲載しておりますのでそちらをお読み下さい。

会費の納入状況に絡めて、福田事務局長から『700人規模の会員の維持は、口コミとか誰かが回って集めると言うようなものではない。情報の発信が必要である』との意見が出され、会員がもっとも期待して楽しみに待っている「星の家だより」の発行がここ一年以上発刊停止状態になっていることに触れられ、『「星の家だより」が出せないくらい星の家が疲弊していて元気が出てこないような状況を何とかしなければならぬ』と発言された。

星さんからは、『ここ数年、ものすごく重たい問題を抱えた子に関わっていかねばならなくなっている。何処まで関わるか限度設定を誤ったのか

もしれない。こういう中で自分自身が精神的なバランスを崩してしまうような恐ろしさを感じたり、エネルギーを無くしてしまっている』というような発言のあと、

- ・お子さんの問題を含めて自分の家庭の将来に不安を感じる。
- ・NPO法人でやっていける問題なのか疑問、社会的養護のシステムとして見直されなければならない。
- ・ここ数年自立援助ホームも増えてきているが、質のばらつきが出てきており、自立援助ホームの方向性が定まらない。
- ・会員の皆さんに現状を理解して頂けることが一番のエネルギーになる。

以上のようなことを言われました。私の稚拙な表現力では星さんの思いが何処まで伝わったか自信がありません、星さんが早く元気になって「星の家便り」で星さんの声で会員の皆さんに伝えられることを願っています。ミニ講演会のような形で会員に対してもっともっとメッセージを発信してもらいたいと思います。

星の家を元気にするためにも、将来構想検討委員会の立ち上げが必要ですが、今回の理事会では、自

立援助ホームのあり方を含めて、星の家のビジョンをもう少し具体化するようなデータの積み上げを運営委員会で行った上でもう一度理事会を開催して決定していこうということになりました。

栃木県議会の社会福祉推進議員連盟（会長野田尚吾議員）ではとちぎボランティアネットワークやウイメンズハウスとちぎ、青少年の自立を支える会の3つのNPO法人と定期的に勉強会をしていきたいという話も出てきているようです。支える会も9年目を迎え、年々盛大になる星の家まつりやチャリティーコンサートに、こんなに多くの会員やボランテ

ィアに支えられて会もここまで来れたんだと言う感慨と、今回の理事会で出されたような「星の家」の疲弊状況の中で、あまりにも自立援助ホームの運営を星俊彦の職人技に頼ってきた事に反省しました。簡単に誰にでもできる仕事では無いとは思いますが、ホーム長の技量や力量だけに頼るのでなく、きちっとそれを支える客観性を自立援助ホームは身につけていかなければならないと思います。私自身に何が出来るか解りませんが、そのための努力をもう少し続けたいと思います。

## 2. 支える会の現状について

事務局 多門 孝

自立援助ホーム「星の家」の運営を柱とした支える会の活動は、会員をはじめ寄付者やボランティアなど大勢の方々に支えられ平成9年7月の設立から今年で満8歳を迎えております。支える会がここまで来られましたのは、ひとえに皆様の善意に支えられたもので大変感謝いたしております。

しかし、今支える会は岐路に立たされております。

自立援助ホーム「星の家」の課題

その課題の解決にかかせない慢性的資金不足です。

自立援助ホーム「星の家」の運営の課題については、理事会報告の通り星さん夫婦が抱える、虐待などで心に大きな傷を負った入居者のケアの問題。さらに元入居者も60名を超えたが、未だに自立できずにいる者が多くおり、金銭関係や就労、様々なトラブル、そして心の病の相談が次々と波の様に押し寄せる底知れないアフターフォロー（ケア）の難しさ。そして思春期を迎えた自分の子どもたちの成長も気がかり。そろそろ長男が進学を迎え、費用も掛かる等々・・・難題山積です。

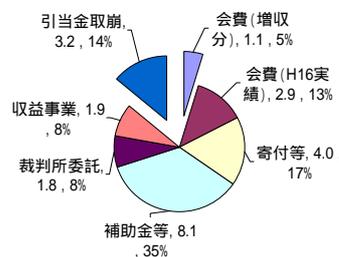
ただ明るいこともあります。「星の家」を訪れた元入居者が結婚して危なげなくも一生懸命に子どもを育てている姿を見ているときの星さん夫婦の屈託のない笑顔！そして、今年度スタッフを増員したが、朝夕炊事や入居者とのコミュニケーションなど「星

の家」の生活全般を補佐し活躍していることです。

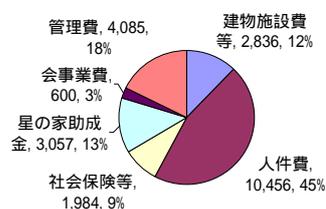
一方、資金面でも大きな局面を迎えております。それは、補助金が昨年度に倍増してからも自立援助ホーム「星の家」運営の課題を解消できる活動資金調達までは至っていないことです。

今年度の予算は、スタッフ増員と車両購入により支出は増加、しかし収入はといえば中長期的に安定した資金確保が望めない状況にも関わらず、会費の1.1百万円の増収編成でも不足し、やむを得ず建築引当金の約半額の3.2百万円（内の半額は車両購入費に充当）を取崩しております。

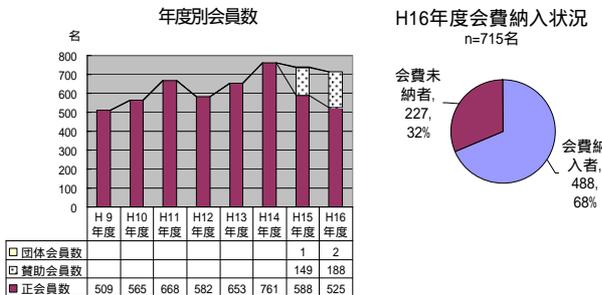
H17年度予算収入内訳  
単位:百万円



H17年度予算支出内訳



しかも会員数は、H16年度末現在715名ですが年々減少傾向、昨年は会費未納者も約1/3にも達しています。また、諸事情により会を去られた方も182名もおります。



この原因は、補助金が倍増し資金面で磐石化したと思われたのか？また、満8年を過ぎ会員の皆さまの意識に変化が生じてきたのか？判りません。

しかし、このまま昨年と同じ会費収入では1百万円の減収となり、強いては更なる引当金の取り崩しに追い込まれます。さらには、予算通りの増収でもこの先2年程度で引当金は底をつくことになり、自立援助ホーム「星の家」の運営が立ち行かなくな

る危機的状況を迎えます。本来ならば、必要な資金を確保して星ホーム長などスタッフの生活保障の充実やほとんど365日24時間勤務の職場環境の改善などを進めなくてはならないのに・・・

今、存続の岐路に立たされつつある本会活動の課題解決に向け、理事会を始め運営委員会等で検討を開始しました。そして緊急的に直ちに取り組むべきものとしては、会費納入のお願いや会費納入の利便性を考慮した銀行振り込み方法導入の検討、情報発信のあり方、団体・企業を含む新たな会員の獲得等々に取り組むことになりました。抜本的な解決に向けた公的補助金の増額は、容易ではありません！行政や政治を動かすには世論の力が必要となります。

私たちに何ができるのか！？皆様と一緒に考え解決に向けて行動していきたいと思っております。なにとぞご理解とご支援をお願いいたします。また、皆様のご意見をお待ちしております！



## 支える会からのお知らせ

### 1. 街頭募金について

日時 11月20日(日曜日) 12時30分~15時30分まで 雨天決行

場所 宇都宮オリオン通り(東武デパート~長谷川時計店付近)

\*当日ボランティアを募集中!!

集合場所: 宇都宮市総合福祉センター  
9A会議室(\*社協入居の建物)  
集合時間: 12時(\*昼食を済ませて下さ)

### 2. 「倉沢大樹エレクトーンコンサート」開催について

日時 平成18年3月4日(土曜日) 17時から

場所 宇都宮市文化会館大ホール \*今回は、「星の家まつり」会場の隣です。お間違いなく!

## 寄付・会費納入者 敬称略・順位不同

平成17年4月～17年9月まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名は割愛させていただきます)

### 支える会募金箱

西の宮ドラッグ  
作新学院大学学生会館内購買部

### (編集後記)

理事会報告と星の家まつりの準備とが重なり、会報の発行が遅れましたことお詫び申し上げます。

なお、「星の家まつり」は約100万円の収益を得て大成功に終わりました。ありがとうございました。

### 弔意

正会員 佐藤 孝子殿

正会員 小野瀬芳男殿

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### (ご報告)

佐藤様からは、生前のご意思によりご家族様を通じて弊会に50万円のご寄付を頂きました。

また、小野瀬様からは、バザー物品収納などでご所有アパートの長期間に亘る無償貸与や宿直ボラなどの多大なご支援を受けてまいりました。

ご厚意に深く感謝しお礼申し上げます。

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会  
発行日/ 2005年10月31日  
発行責任者/ 伊達悦子  
編集責任者/ 福田雅章

所在地/ 321-0963 栃木県宇都宮市南大通り4-2-18  
電話/ 028-651-0161 FAX/ 028-651-0162  
IP 電話/ 050-3437-2401  
Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp  
HP/ <http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>